

授業改善の成果と課題

教育学研究科・白松 賢

1. 今年度の授業内容

本授業では、教職への一体感を目指して、教育法規、教育原理、教育史、教師の生活世界についての概論やディスカッションを通して、基礎的知識・理解を深める。また自己の適性について自己評価する。具体的な内容は以下の通りである。

第1回：イントロダクションー教師の職業世界ー

第2回：公教育制度の成立と教職ー教職の社会的必要性ー

第3回：教師に求められる資質能力とは

第4回：社会に求められる教師とは

第5回：教職を取り巻く社会の変化ーチーム学校の必要性ー

第6回：教職への信頼のゆらぎ(1)ー保護者・地域社会からの信頼の変化ー

第7回：教職への信頼のゆらぎ(2)ー不祥事から考える服務上・身分上の義務ー 中間テスト

第8回：教育問題の諸相ー個性と学級崩壊ー

第9回：教師の仕事と成長ーライフヒストリー研究ー

第10回：現場の教員に学ぶ(実地指導講師講話)

第11回：<教師の成長>と研修・

身分保障

第12回：教育問題を考えるーいじめ・SNSトラブル・児童虐待

第13回：自己の適性を考える(1)ー自己実現目標としての教師像ー

第14回：自己の適性を考える(2)ー自己教育課題の明確化ー

第15回：まとめー教職をめざした学習ロードマップを創ろうー

2. 昨年度からの授業改善方針

本年は、昨年度までの内容から、3つの改善を実施した。

第一に、教育問題については、トピックとして「いじめ」から「児童虐待」「体罰」「SNSトラブル」を内容に含め、教員採用試験の内容とともに、昨今のトレンドを反映するようにして、学生の興味・関心を高め、思考・判断・表現に関わる専門的思考のあり方を習得できるように工夫した。

第二に、受講生数が170名程度であり大規模ではあるものの、グループでの対話的な学びを促進した。TAと相談しながら、学生が話しやすい題材をもとに、グループで様々な協議を行い、授業中に発表し、TAに適宜補助してもらいながら、授業に反映させるように取り組んだ。

第三は、アクティビティの改良である。学級活動や生徒指導で用いられるSGEやSST、学級リクリエーション

の手法を、授業内容に関連づけながら実施することで、授業内容を体験的に理解できるように工夫した。

3. DP 対応調査の結果から

本授業では、DP の1の前半「教育と教職に関する確かな知識」と DP 4の関心、意欲、態度、教師としての使命感や責任感を主に対象としている。DP 1、DP 4のいずれの項目も、4年間にわたって、60%を超える受講生が「とてもそう思う」と回答している。また今年度は、「ある程度、そう思う」と回答した学生を含めると、95%を超える学生が、これらの項目には、肯定的な回答をしていることになる。

平成28年度より3年間にわたり、授業のほぼねらい通りの効果を達成していたが、上述したように本年度の授業改善の結果、今年度 DP 1については、とてもそう思うが若干増加したことに成果が見えている。また授業の主なねらいとしていない DP 2の技能、DP 3の思考・判断・表現についても、

一定の高い割合で肯定的な回答が行われていることから、主体的対話的で深い学びを意識した授業方法に一定の成果が見られているのは過去3年間とほぼ同様の結果である。ただし、本年度は、グループでの話し合い活動とワークを多く取り入れたことで、DP 2「技能」について「ある程度そう思う」が増加していることや、DP 3「思考・判断・表現」について「とてもそう思う」と回答している生徒の割合が50%を超えており、授業改善の成果が現れている。

昨年同様、「無関係である」と回答した学生が全ての項目について素データを分析してみると、重み付けの結果として、特に関係しているところのみを回答している学生がいたことに起因しているようであった。

授業改善には一定の成果が見られていることを踏まえ、次年度は、さらに、グループワークや話し合いを取り入れ、その成果の継続性を検討する必要がある。

表1 教職基礎論DP対応調査

		とても そう思う	ある程度 そう思う	あまりそう 思わない	無関係である	計
DP1知識・理解:教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。	H28	64.2%	31.8%	4.1%	0.0%	100.0(148)
	H29	54.4%	38.8%	6.9%	0.0%	100.0(160)
	H30	61.4%	35.4%	2.5%	0.6%	100.0(158)
	R1	65.8%	31.0%	3.2%	0.0%	100.0(155)
DP2技能:教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。	H28	43.9%	47.3%	8.8%	0.0%	100.0(148)
	H29	45.0%	41.9%	12.5%	0.6%	100.0(160)
	H30	39.2%	43.0%	10.1%	1.3%	100.0(158)
	R1	41.3%	49.0%	9.0%	0.6%	100.0(155)
DP3思考・判断・表現:教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。	H28	47.3%	45.3%	7.4%	0.0%	100.0(148)
	H29	43.1%	48.1%	8.8%	0.0%	100.0(160)
	H30	41.8%	51.9%	6.3%	0.0%	100.0(158)
	R1	52.3%	40.6%	6.5%	0.6%	100.0(155)
DP4興味・関心・意欲、態度:教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。	H28	67.6%	29.7%	2.7%	0.0%	100.0(148)
	H29	65.6%	29.7%	2.7%	0.0%	100.0(160)
	H30	67.1%	30.4%	1.9%	0.6%	100.0(158)
	R1	65.8%	32.9%	0.6%	0.6%	100.0(155)